

1. 白木蓮にも似た-その白い翼で

Hum せかい 果てしないそらあへ

たび



【P1~P7】

2. 立ってゆくのですね

Hum まばゆく輝いて

ゝたびだってゆくのですね

たびだあつ一巣をあとにして

愛と涙 そして知るだろう

人生の果て しん

3. 信じあえることのよろこびと

悲しみ知った分

優しくなれることを

いろんなことがあって

自分を嫌いになった

Hum 僕だけ

ひとを羨んだりもしたさ すさ

4. んだころに刺さったのは

Hum いがいな言葉だ-った

ゝもいちどあの空を あの空を

飛べるとおもった

張り裂けるような悲しみの行き場

にくしみ出口 とき

5. よおまあえはみてきたのだろう

憎しみ ゝきわみを

たたかいのおはてえを

時のめがあみよ教えてくだあさい

握り-あ-え-ない

へだあてる ここおろのかべがい

つか 癒され ゝなくなる日は

6. くるのおでしょうか 【転調】

手と手をつなぎその手をおかざそう

人生の果て

信じあえることのよろこびと

悲しみ知った分 やさしく

愛となみだあ あなたの

7. 手のおぬくもり 人生の果て

信じあえるうことのよろこびと

悲しみ知った分優しくうなれえる

Ah Ah Ah Ah